

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書(中間評価書)

平成29年3月24日

計画の名称	富里市における下水道普及率の向上と下水道整備の促進																				
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象	富里市														
計画の目標	公共下水道の整備を行い、公共用水域の水質汚濁防止や環境衛生の向上を図る。																				
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を49% (H23) から53% (H27) に増加させる。 ②下水道管路施設の長寿命化基本計画を策定する。																				
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考									
									当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)										
①下水道処理人口普及率 下水道処理人口 (人) / 行政人口 (人)									49% 49.0%	51% 53.6%	53% 55.5%										
②下水道管路施設の長寿命化基本計画を策定する。									0% 0%	0% 0%	100% 0%										
全体事業費	合計 (A + B + C)	655 466.1	A	655 466.1	B	0 0	C	0 0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		0.00%										
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制								事後評価(中間評価)の実施時期													
「富里市の下水道事業の事後評価に関する規定」に基づき、富里市都市建設部にて事後評価(案)を作成し、(案)のパブリックコメントの後、寄せられた意見を基に必要に応じ修正し事後評価として公表をする。								平成29年3月24日 公表の方法 広報にて周知、富里市ホームページにて掲載													
事後評価書(中間評価書)																					
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
上段：計画 下段：実績																					
A1 下水道事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
											H23	H24	H25	H26	H27						
印旛処理区																					
A1-1-1	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	七栄六号汚水幹線整備 (未普及解消)	L=2,230m L=2,049m	富里市						303 286.1					
A1-1-2	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	七栄三号汚水幹線整備 (未普及解消)	L=320m L=342m	富里市						44 39.1					
A1-1-3	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	七栄一号汚水幹線整備 (未普及解消)	L=1,300m L=1,136m	富里市						139 137.9					
A1-1-4	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	日吉倉地区枝線整備 (未普及解消)	L=135m A=0.2ha	富里市						27 0					
A1-1-5	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	七栄東内野地区枝線整備 (未普及解消)	L=470m A=3.0ha L=54m A=0.4ha	富里市						36 3					
A1-1-6	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	東立沢地区枝線整備 (未普及解消)	L=700m A=5.8ha	富里市						68 0					
A1-1-7	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	新設	根本名地区枝線整備 (未普及解消)	L=1,300m 実施設計	富里市						20 0					
A1-1-8	下水道	一般	富里市	直接	—	汚水	長寿命化	公共下水道管路施設長寿命化基本計画策定	計画策定	富里市						18 0					
													合計					655 466.1			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				家庭雑排水等による水環境の悪化に対し、公共下水道を効率的に整備し、住民が快適に居住できるまちづくりの実現へ大きく寄与した。												
II 定量的指標の達成状況				指標① （下水道処理人口普及率）	最終目標値	53%	目標値と実績値 に差が出た要因	総人口に対して公共下水道を利用できる人口の割合は、目標値を達成しました。								
					最終実績値	55.5%										
				指標② （長寿命化基本計画策定）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	普及率向上を優先したため、計画策定が遅れている。H28～H29年度に実施見込みです。								
					最終実績値	0.0%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 （必要に応じて記述）				本計画では次期整備計画に継続する事業が多く完了した事業は少ないが、普及率は目標値を超えており、公共用水域の水質保全に寄与している。												
3. 特記事項（今後の方針等）																
ストックマネジメント計画の策定を行い修繕改築に努める。また、住民が快適な生活ができるまちづくりの実現へ向けて、今後とも下水道整備事業を推進する。																